

習志野市第4次男女共同参画基本計画（素案）の概要

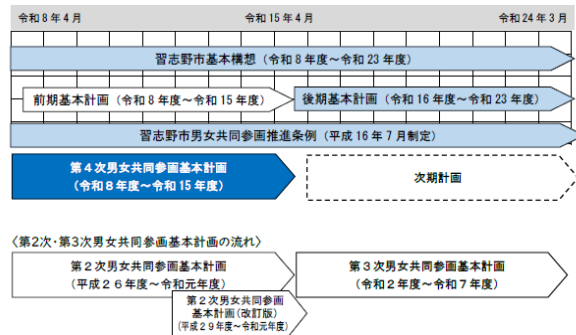
1. 計画名：習志野市第4次男女共同参画基本計画

- ◆ 本計画は、習志野市男女共同参画推進条例第10条第1項に基づく「基本計画」であると同時に、男女共同参画社会基本法第14条第3項に基づく「市町村男女共同参画計画」として位置付けられる計画です。
- ◆ また、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律の規定に基づく計画でもあります。



2. 計画期間

令和8年度から令和23年度までを期間として策定する本市の「基本構想」の将来都市像の実現を目指し、上位計画である習志野市前期基本計画の計画期間との整合性を図る観点で、**令和8年度から令和15年度までの8年間**とします。



3. 目的と課題認識

近年の男女共同参画を取り巻く社会情勢の変化や、本市のこれまでの基本計画における取組とその成果を踏まえると、以下のような視点での取組が必要です。

●人権の尊重

- ・ 多様な性的指向や性自認・性別違和の人々に対する差別と偏見の根絶
- ・ DVやハラスメントなど、人権を侵害する暴力のない社会の実現

●仕事と生活の調和とあらゆる分野への参画

- ・ 働く場における男女の機会均等の促進
- ・ 一人ひとりの仕事と生活の調和の実現
- ・ 大規模な災害の発生に備え、男女共同参画の視点を十分に踏まえた万全の防災対策
- ・ 男女双方の家庭・地域への参画、まちづくりにおける男女共同参画の実現
- ・ 様々な健康課題の理解と配慮

4. 目標

- ◆ 本計画では、男女共同参画をめぐるさまざまな課題を乗り越え、多様性（ダイバーシティ）の観点を踏まえた本市が目指すべき方向性を示すものとして、将来像を次のとおりとします。

誰もが尊重され、その人らしく活躍できる社会

5. 内容

(1) 体系

本計画では、2つの基本目標のそれぞれに課題と施策の方向を設定するとともに、施策及び具体的な事業を位置づけて、計画を推進します。

基本目標Ⅰ

全ての個人が尊重される社会づくり

課題Ⅰ 多様性尊重の意識の醸成

- ① 男女共同参画の意識啓発と多様性の尊重
- ② 男女共同参画に関する情報収集と調査研究
- ③ 国際交流を通じた男女平等意識への理解の促進
- ④ 多様な性を尊重する意識啓発と制度の運用
- ⑤ 防災活動における女性参画への理解の促進

課題Ⅱ 多様な選択を可能とする教育・学習の充実

- ① 就学前における男女平等の意識啓発
- ② 学校における男女平等の意識啓発
- ③ 家庭・地域における男女共同参画の意識啓発

課題Ⅲ 人権侵害のない環境の整備

- ① 暴力・人権侵害のない環境づくり
- ② 暴力・人権侵害の根絶に向けた取組の推進
- ③ DV防止の広報・啓発
- ④ DV被害者が安心して相談できる体制の整備
- ⑤ DV被害者の生活再建に向けた支援
- ⑥ DVに対応する関係機関等との連携・協力
- ⑦ 困難に直面する女性等への支援
- ⑧ 高齢者・障がい者・外国人等への支援

基本目標Ⅱ

仕事と生活が調和し、誰もがあらゆる分野に参画し活動できる環境づくり

課題Ⅰ 働く場や市政における多様性の確保

- ① 雇用の分野における男女の機会均等、待遇改善の促進
- ② 農業従事者、自営業等における男女共同参画の促進
- ③ 女性の起業、再チャレンジ支援
- ④ 市政における女性の参画の推進
- ⑤ 事業所等における多様性の促進
- ⑥ 働く場におけるワーク・ライフ・バランスの促進

課題Ⅱ 家庭・地域への参画とまちづくりにおける多様性の推進

- ① 家庭生活・地域生活への参画促進
- ② 地域活動における男女共同参画の促進
- ③ 家庭生活と社会生活の両立に向けた子育て支援・介護支援
- ④ 多様な視点を取り入れた防災・災害対応の活動

課題Ⅲ 生涯にわたる健康維持への支援

- ① 生涯にわたる健康維持への情報提供と相談の充実
- ② 安心して妊娠・出産できる環境に向けた支援

(2) 重点施策

本計画期間中においては、以下の施策の方向を重点的に取り組みます。

- ・ 防災活動における女性参画への理解の促進
- ・ DV被害者が安心して相談できる体制の整備
- ・ 市政における女性の参画の推進
- ・ 事業所等における多様性の促進
- ・ 働く場におけるワーク・ライフ・バランスの促進
- ・ 家庭生活と社会生活の両立に向けた子育て支援・介護支援
- ・ 生涯にわたる健康維持への情報提供と相談の充実

(3) 評価指標

取組の結果実現する“男女共同参画社会、ひいては多様性社会の姿”を具体的に「成果目標（アウトカム）」として示します。

【成果目標】

- ◆ だれもが互いの人権を尊重しあい、すべての人の平等が確保されます。
- ◆ だれもが困難を抱え込まず、みんなで支え合って生活することができます。
- ◆ 家庭・地域から方針や意思決定の場まで、あらゆる分野で男女がともに参画し、多様な視点が取り入れられています。
- ◆ だれもが健やかに過ごすとともに、仕事と生活を調和させ、自身の希望通り家庭や社会で活躍できます。